

令和7年度新潟大学農学部学校推薦型選抜

生物資源科学プログラム

小論文

回答例)

利点

- ・ 生物多様性や生物的循環および土壌の生物活性などの農業生態系の健全性を促進し強化する。
- ・ 慣行栽培に比べ、生物多様性の向上や温室効果ガスの放出量の減少が報告されている。
- ・ 消費者から、「健康にいい」「価格が高い」「安全である」製品というイメージを得ている。

課題

- ・ 栽培管理などに手間がかかる（特に除草）。人手が足りない。
- ・ コストがかかる（慣行栽培に比べ大量の堆肥や土壌改良材が必要、資材価格や物流費の高騰の影響を強く受ける）
- ・ 慣行栽培に比べて単収が減る場合がある。単収や品質が安定するまで栽培方法を工夫する必要があり年数を要する。
- ・ 条件不利地での栽培が難しい。
- ・ 消費者のニーズがまだそれほど高くない。

対策（農林水産省の政策の例）

人材育成、産地づくり、販売機会の多様化、消費者の理解の増進、技術開発・調査など